



六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 3年特別号
校長 齋藤 啓悦
令和 2年7月16日

心を育てることは自分を成長させること

“「六華の心+2」こころの成長シート”で自分の行動を見直す



今回の学校だよりは3年生特別号です。ホームページには載せませんが配付は3年生のみとしています。

さて、3年生は学校だよりを読んでくれているでしょうか。タイトルは「六華の心」なのですが、気づいていましたか。

7月になってから、3年生の3クラスで授業（といっても「成長シート」の書き方の説明ですが…）をさせてもらいました。（3の1はシートに記入済みだったので授業はしていません）

ねらいとしては「六華の心」について考えてもらい、自分ができる行動をシートに記入することでしたが、校長として3年生に直接話をする機会はなかなかないので、少しの時間をもらい、3年生への激励を話したかったことも実は理由の一つです。（【激励のこぼれ】を載せたので3の1の皆さんも読んでください。）

おもしろい授業はできませんでしたが、どのクラスもみんな真剣に考えてくれました。そして、自分にできること、これからしようと思っていることなど短い時間でよく書いてくれました。

書いた数よりも「6つの心（+自分で考えた2つの心）」についてしっかり向き合い、自分にできることを考えてくれたことが何より嬉しく、授業をやってよかったという思いです。

自分に今できること、いつかできること、自分のためにすること、家族や友だちのためにすること、困っている人のためにできること…いろんな思いや行動が形としてシートに記入されていました。

人のためにしたこと（考えたこと）は、いつか自分に返ってきます。まだ行動にできなくても相手のことを思い、考えて、行動に移そうとしてくれた心が大切です。書いたことすべてでなくても1つでも2つでも皆さんのこれからの生き方の行動指針としてほしいと思います。

できることは“今から”です。3年生の行動変容が六中を動かし、六中をよりよく変えていきます。新型コロナのため様々な活動が制限され、特に3年生には負担をかけ、つらい思いをさせていますが、「六華の心」を大事にしながら、一人一人が自分の夢や目標に向けて頑張ってもらいたいと思います。



【六華の心】（昭和60年制定当時の解説） ※自分なりの“心”の解釈の仕方でいいのです。

- ① 学ぶ心 … 他からやらされるのではなく自分から進んで、しかも新しいものの見方・考え方を学ぶ心
- ② 思いやりの心 … 自己中心的な考え方を排除し、他人の痛みがわかり、助け合い励まし合う心
- ③ 耐える心 … 心身ともに強健で、苦しみ・困難に出会ってもがまんしてやり抜く強い心
- ④ 素直な心 … ハイ、ワカリマシタ、ソウシマス、私ノ思イ違イデシタ、と心の底から言える心
- ⑤ 奉仕の心 … 今やれること、しなければならないこと、集団の一員として進んで仕事を引き受ける心
- ⑥ 感謝の心 … ありがとうございます、と心から言える心

3年生への激励のこぼれ

（※校長室にくと解説を聞くことができます）

- ◇あきらめたらそこで試合終了だよ。（安西先生）
- ◇となりの人と比べるな、昨日の自分と比較せよ。（渡邊美樹）
- ◇人に勝つより、自分に勝て。（加納治五郎）
- ◇努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。（井上靖）
- ◇小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただ一つの道だと思っています。（イチロー）
- ◇一番いけないのは自分がダメだと思い込むことだよ。（野比のび太）
- ◇Where there is a will, there is a way.（意志あるところに道あり）

◇心を育てることは自分を成長させること。
◇目標を持って、自分の道を切り開いてほしい。
◇Never too late.
（今からでも遅くない）

